

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本化学会 第98春季年会
演題名	バイオマスを用いた重金属イオンの吸着
発表者	○山田拓※、 <u>柳原尚久</u> 【超臨界化学研究室】
内容	<p>廃棄系バイオマスの有効活用の一例として、茶殻、おから、および卵殻膜を、水溶液中における重金属イオンの吸着剤として応用することを目的し、鉛(II)、銅(II)、亜鉛(II)ならびにカドミウム(II)の吸着を試みた。その結果、茶殻が最も有効であることが判明し、特に、緑茶は代表的な吸着剤として知られている活性炭の1~3倍の吸着量を示すことを明らかにした。さらに、バイオマス系吸着剤の特性を代表的な平衡吸着式であるFreundlich式やLangmuir式を用いて評価した結果を報告した。</p>